

(64) RECEIVER

(11) 58-105632 (A)

(43) 23.6.1983 (19) JP

(21) Appl. No. 56-204670

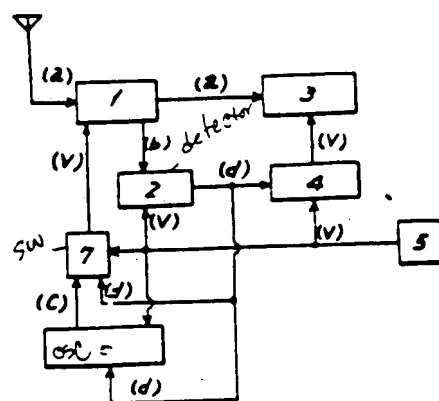
(22) 17.12.1981

(71) MITSUBISHI DENKI K.K. (72) MIKIO NAKAGAWA

(51) Int. Cl. H04B1/16.H04B7/24

PURPOSE: To reduce power consumption by intermittently supplying electric power to a waiting circuit in waiting status.

CONSTITUTION: Square wave pulse signals are continuously applied from a monostable oscillating circuit 6 to a switching circuit 7 to intermittently drive the circuit 7. The circuit 7 supplies electric power to a low power circuit which operates in reception waiting status and actuates the circuit 1 only when the circuit 7 is on. At the reception of radio waves, a detection signal is outputted from a signal detecting circuit 2. The detection signal turns on a switching circuit 4 to actuate an ordinary receiving circuit. At the same time the operation of the monostable oscillating circuit 6 is stopped.



⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58-105632

⑬ Int. Cl.³
H 04 B 1/16
7/24

識別記号

庁内整理番号
6442-5K
6429-5K

⑭ 公開 昭和58年(1983)6月23日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑮ 受信機

電機株式会社通信機製作所内

⑯ 出 願 人 三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目2
番3号

⑰ 特 願 昭56-204670

⑱ 出 願 昭56(1981)12月17日

⑲ 発 明 者 中川幹雄

⑳ 代 理 人 弁理士 葛野信一 外1名

尼崎市南清水字中野80番地三菱

明 細 書

1. 発明の名称

受信機

2. 特許請求の範囲

(1) 低電力回路と大電力回路とを備え、所望の受信入力を受信を信号検出回路が検出したとき、大電力電源供給スイッチ回路を ON 作動させて上記大電力回路に電源からの電力を供給する信号待ち受け時間の長い受信機において、上記低電力回路に対する電源からの電力の供給を ON、OFF 作動させる低電力電源供給スイッチ回路と、このスイッチ回路を間欠的に駆動する間欠駆動回路とを備え、信号検出回路が所望の受信入力を検出したとき、上記間欠駆動回路の駆動を停止させると同時に、低電力電源供給スイッチ回路を連続的に ON 作動させることを特徴とする受信機。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、携帯無線機などのようにバッテリーを電源とし、同報無線のように親局からの電波を待ち受けている時間が長い受信機に関するもので

ある。

従来、受信待機時間の長い受信機は一般に図1図に示すような構成になっている。すなわち、受信機の入力部より検波、増巾に至るまでの比較的消費電力の少ない低電力回路(1)、受信機の入力信号もしくは所望相手局よりの信号を検知する信号検出回路(2)、受信検出音声信号を増巾し、スピーカから出力する消費電力の大きい大電力回路(3)、およびこれを動作させるための電源供給スイッチ回路(4)から構成されている。

上記構成において、上記低電力回路(1)には、常時、電源(5)から電力が供給されており、大電力回路(3)は通常電源供給スイッチ回路(4)の OFF 動作により電源(5)からの電力供給が断たれている。

受信入力または受信入力の中の当該受信機を動作させるための信号が信号検出回路(2)により検出されると、電源供給スイッチ回路(4)の ON 動作により、大電力回路(3)に電源(5)から電力の供給がなされ、音声信号が増巾されてスピーカより音声伝達される。

並に同一部分には同一番号を付し、特に受検状態における低電力回路(1)に決定する単安定回路(8)からの出力によりON/OFF回路(1)に電源(5)からの電圧をスイッチ回路である。

作動について説明する。
常に動作して矩形波パルスでスイッチ回路(7)を間欠的に、低電力回路(1)を間欠的に、低電力回路(1)に電源(5)から電力供給をしない時間と(6)から発生するパルスのデシタがつて、入力信号の均的な消費電力は、上記のように定めるかにより決定する。安定発振回路(8)は低電力回路ではるかに小さい消費電力を要する。

でき、これにより、電源をにかえることが容易となり、山頂などの商用電源のきわめて容易となる利点

図を示すブロック図、第2図は長時間の長い受信装置に示すブロック図である。
…信号検出回路、(3)…大電力供給スイッチ回路、(5)…単安定発振回路、(7)…スイッチ回路。

番号は同一もしくは相当部分

高野 信一 (外1名)

図 1

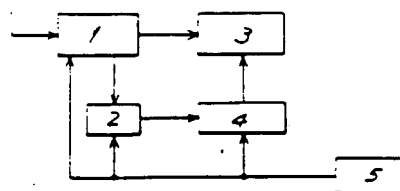


図 2

